

1. 科目名 ( 単位数 )	教育課程論 ( 初等 ) ( 2 単位 )	3. 科目番号	EDTE1103 SJTC3411
2. 授業担当教員	曾根原 和明		
4. 授業形態	講義、討議や発表学習を中心に	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	本科目は、「教育の基礎的理解に関する科目」に位置付けられる必修科目であり、学校教育を教育課程という観点から総合的に捉えることを目的とする。とりわけ「教育学概論」で学ぶ教育の目的や理念、「教育法規」で扱う制度的枠組みの理解を前提として、それらを具体的な教育課程編成へと結び付ける役割を担う。また、「教育方法論 ( ICT 活用含む ) 」や各教科の指導法科目において授業を構想する際の基盤となる理論的枠組みを提供する。履修にあたり特別な前提科目は設けないが、教職課程科目と併せて履修することで、教育課程の理解をより深めることができる。		
7. 講義概要	「学校において編成する教育課程とは、学校教育の目的や目標を達成するために、教育の内容や児童の心身の発達に応じ、授業時数との関連において総合的に組織した学校の教育計画である。」ことを理解するとともに、児童や地域の実態に即し目指す資質や能力を明らかにするとともに、カリキュラムマネジメントの視点から各教科の内容を教科横断的に組織する必要性について理解する。また、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善について様々な視点で考えることができる。		
8. 学習目標	1. 学校教育において教育課程が有する役割・機能・意義を理解する。 2. 教育課程編成の基本原則及び学校の教育実践に即した教育課程編成の方法を理解する。 3. 教科・領域・学年をまたいでカリキュラムを把握し、学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解する。		
9. アサイメント ( 宿題 ) 及びレポート課題	<p>本科目では、教育課程の理論的理解と具体的な学校実践への接続を重視し、事前学習・事後学習および期末レポートを課す。</p> <p>( 1 ) 事前学習 各回の授業内容に関連して、自身のこれまでの学習体験や学校体験を振り返り、簡潔にまとめて提出する。教育課程を抽象的概念として理解するのではなく、自らの体験と結び付けながら考察することを目的とする。</p> <p>( 2 ) 事後学習 各回終了後に学習目標に照らした自己評価を行う。授業で扱った重要概念や論点について、簡潔に説明する課題を課す。基礎的知識の定着と概念理解の確認を目的とする。</p> <p>( 3 ) 期末レポート 本科目で学んだ内容を踏まえ、学校はどのような考え方にもとづいて教育課程 ( カリキュラム ) をつくるべきかについて論じる ( 1,500 字以内 ) 。教育課程 ( カリキュラム ) の意義、歴史的展開、制度的枠組み、カリキュラム・マネジメントの視点を統合的に理解しているかを総合的に評価する。</p> <p>事前学習および事後課題の提出は、いずれも次回授業日の前々日までとする。</p>		
10. 教科書・参考書・教材	尾崎博美・井藤元編『ワークで学ぶ教育課程論 ( 増補改訂版 ) 』ナカニシヤ出版、2024 年。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 教育課程の意義について理解し、説明できる。</li> <li>2 近代及び現代日本の教育課程の歩みと教育課程をめぐる現状と課題を理解し、説明できる。</li> <li>3 学校教育課程全体をマネジメントすることの意義を理解、説明できる。</li> <li>4 指導案の作成、模擬授業の実施を通して、学習過程や成果などを PDCA サイクルにて考えることができる。</li> </ol> <p>○評定の方法 授業への積極的参加度、日常の受講態度、レポート等を総合して評価する。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>本科目では、教育課程を単なる時間割や教科配列として捉えるのではなく、「どのような子どもを育てたいのか」という教育目的と結び付けて考える力を養うことを重視します。教育課程は学校の教育活動全体を方向付ける設計図であり、その理解は教員としての基盤となるものです。</p> <p>第一に、自らの体験と理論を結び付けて考える姿勢を大切にしてください。本科目では学習体験を振り返る事前課題を課しています。自身の体験を出発点としながら理論を学ぶことで、教育課程を自分の問題として捉えることができます。</p> <p>第二に、対話を通して考えを深める姿勢を大切にしてください。教育課程には多様な立場や価値観が関わっています。討議や意見共有を通して、自分の考えを言葉にし、他者の考えから学ぶ体験を重ねることが重要です。</p> <p>第三に、学校全体を見通す視点をもつことを意識してください。教育課程は一つの授業だけで完結するものではありません。教科や学年を超えたつながり、さらには学校全体のカリキュラム・マネジメントの視点から考えることが求められます。</p> <p>教育課程を学ぶことは、将来、自ら教育を構想し改善していく力を身に付けることにつながります。本科目を通して、理論と実践を往還しながら、主体的に学ぶ姿勢を身に付けてください。</p>		
13. オフィスアワー	授業内 ( 初回授業 ) で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	テキスト「第 1 章 人間を計画通り育てることはできるのか?—『教育目的』へいたる道のりとしての教育課程—」	事前学習	体験の振り返り これまでに受けた授業の中で、「何のために学ぶのか」が明確だった体験を書いてください。
	教育目的と教育課程の関係を整理し、教育課程	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学習目標に照らした自己評価</li> <li>● 教育目的と教育課程の関係を端的に説明してくだ</li> </ul>

			さい。
第2回	の本質的問いを理解する。 テキスト「第2章 みんな学校に行つて同じことを勉強するのはあたりまえだろうか？—江戸時代の『学び』から問い直す—」	事前学習	体験の振り返り 学校以外で学んだ体験（習い事・家庭・地域など）を挙げてください。
	江戸期の学びを手がかりに、近代学校カリキュラムの成立条件を問い直す。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>近代学校の教育課程の特徴を端的にまとめてください。</li> </ul>
第3回	テキスト「第3章 人を計画的に育てることはどのように考えられてきたか？—学校における生活知をめぐる教育論争からカリキュラム論の誕生へ—」	事前学習	体験の振り返り 学校で学んだ知識が日常生活と結びついた体験を書いてきてください。
	生活知と教科知をめぐる教育論争を通して、カリキュラム論の誕生を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>生活知と教科知の違いを簡潔に説明してください。</li> </ul>
第4回	テキスト「第4章 『学び』の単位をどのように創り出したらよいただろうか？—大村はまの『単元学習』に学ぶ『教育課程』・『教科』創りの発想—」	事前学習	体験の振り返り 一つのテーマを長期間学んだ体験があれば書いてきてください。
	単元学習の発想を通して、教育課程編成の基本単位を考察する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>単元学習の特徴を端的に説明してください。</li> </ul>
第5回	テキスト「第5章 学校で用いられる『言葉』にルールはあるのか？—カリキュラムにおける言語コードの規範と再生産—」	事前学習	体験の振り返り 授業で使われる言葉が難しいと感じた体験を書いてきてください。
	カリキュラムにおける言語コードと知識の再生産構造を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>言語コードが学習に与える影響を簡潔に説明してください。</li> </ul>
第6回	テキスト「第6章 何を学ぶのかをなぜ自由に決めることができぬのか？—教育課程に関する法と制度—」	事前学習	体験の振り返り 学校で学ぶ内容は誰が決めていると思うか、自分の考えを書いてきてください。
	教育課程を規定する法制度の枠組みとその意義を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>教育課程を規定する法制度の役割を端的にまとめてください。</li> </ul>
第7回	テキスト「第7章 何が変わったのか？ どうして変えるのか？—学習指導要領の変遷から広がる世界—」	事前学習	体験の振り返り 「ゆとり教育」という言葉について知っていることを書いてきてください。
	学習指導要領の歴史的変遷を概観し、改訂の背景を整理する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>学習指導要領改訂の主な目的を簡潔に説明してください。</li> </ul>
第8回	テキスト「第8章 なぜ『ゆとり教育』だったのか？—1998年改訂学習指導要領—」	事前学習	体験の振り返り 学習内容が減った、または増えたと感じた体験を書いてきてください。
	1998年改訂の意義と課題を通して、教育課程改革の論点を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>1998年改訂学習指導要領の特徴を端的にまとめてください。</li> </ul>
第9回	テキスト「第11章 『頭がいい』ってどういうこと？—教育課程設計の前提となるさまざまな資質・能力観—」	事前学習	体験の振り返り 「頭がいい」とはどういうことか、自分の考えを書いてきてください。
	資質・能力観の変遷を踏まえ、現行教育課程の前提となる学力観を理解する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>資質・能力観の変化を簡潔に説明してください。</li> </ul>
第10回	テキスト「第12章 『主体的・対話的で深い学び』に教師はいらぬ？—ヒドゥン・カリキュラムとしての教師の身体—」	事前学習	体験の振り返り 授業での教師の存在が印象に残った体験を書いてきてください。
	主体的・対話的で深い学びと教師の役割の再定義を考察する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>主体的・対話的で深い学びにおける教師の役割を端的にまとめてください。</li> </ul>
第11回	テキスト「第9章 現場の教師はどうやって授業をつくるか？①—『本質的な問い』を軸にした授業を事例に—」	事前学習	体験の振り返り 印象に残っている授業の「問い」を一つ挙げてください。
	教育課程が授業に具体化されるプロセスを事例から学ぶ。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>本質的な問いが授業に与える効果を簡潔に説明してください。</li> </ul>
第12回	テキスト「第10章 現場の教師はどうやって授業をつくるか？②—国語教育の事例を通して—」	事前学習	体験の振り返り 国語の授業で考えさせられた体験を書いてきてください。
	教科レベルでの教育課程の具体化と単元設計を分析する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>単元設計の際に重要となる視点の一つを挙げてください。</li> </ul>
第13回	テキスト「第14章 『プロジェクト』はカリキュラム改革の切り札となるか？—『プロジェクト』の教育課程上の位置と子どもの学び—」	事前学習	体験の振り返り 教科を横断して学んだ体験を書いてきてください。
	教科横断型カリキュラムの可能性と課題を検討する。	事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>プロジェクト型学習の意義を端的に説明してください。</li> </ul>
第14回	テキスト「第19章 教師がカリキュラム開発・編成をおこなうことは可能か？—学校を基盤としたカリキュラム開発—」	事前学習	体験の振り返り 学校全体で取り組んでいる活動の一つを思い出してください。
		事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> </ul>

	学校基盤型カリキュラム開発とカリキュラム・		<ul style="list-style-type: none"> <li>カリキュラム・マネジメントの目的を簡潔に説明してください。</li> </ul>
第15回	<p>テキスト「第20章 遊びで満たされた学びの舞台?—主体性の育成とパフォーマンスな学び—」</p> <p>教育課程の総括として、主体性育成と教育課程の意義を再整理する。</p>	事前学習	<p>体験の振り返り</p> <p>自分が主体的に取り組めた学習体験を書いてください。</p>
		事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習目標に照らした自己評価</li> <li>期末レポート課題 <ul style="list-style-type: none"> <li>本科目で学んだ内容を踏まえ、学校はどのような考え方にもとづいて教育課程(カリキュラム)をつくるべきかについて論じなさい(1,500字以内)。論述にあたっては、次の4点を含めること。 <ol style="list-style-type: none"> <li>① 教育課程とは何か。また、それは教育目的とどのように関わっているか。</li> <li>② 学習指導要領はこれまでどのように変わってきたか。その変化から何が分かるか。</li> <li>③ 学校全体で教育課程を見直し、改善していくことにはどのような意味があるか。</li> <li>④ 具体的な小学校の場面を一つ想定し、計画・実践・振り返り・改善の流れ(PDCA)に沿ってどのように工夫できるか。</li> </ol> </li> </ul> </li> </ul>